

# 例会報告

## Rotary



第2751回例会  
令和6年8月9日

ロータリーの  
マジック

会員増強委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 田中 晶洋
- 会報委員長 阪下 六代

### <会長の時間>

パリオリンピックの柔道団体決勝戦のTV中継を思わず見入ってしまいました。1チーム男子3人女子3人で構成されています。日本とフランスの勝負は3対3と同点となり代表者がコンピューターの抽選で選ばれました。結果は日本が銀メダルでした。団体戦が「5人制」「7人制」と奇数であれば勝敗ははっきりとつづけていますが、オリンピックの「団体戦」が偶数である理由を聞き驚きました。「男女平等を尊重する」ためでありIOC（国際オリンピック委員会）の方針だったそうです。この方式が東京オリンピックから採用されました。



東京オリンピックで男女平等の方式が大きくすすみ、卓球やテニスなど男女混合種目が一気に拡大されました。開会式や閉会式の旗手は男女ペアが務めるようになりました。この流れを受けてパリオリンピックは選手の参加が「男女同数」になりました。オリンピックの世界では男女平等の動きが進んでいるようです。

ロータリークラブに目を転じますと女性の加入が認められたのは1989年、平成元年です。35年前つい最近です。オリンピックに女子選手の参加が認められたのは1900年第2回パリ大会です。世界の流れからロータリークラブは大きく遅れていたということです。とはいえ2022-2023年度に初の女性国際ロータリー(RI)会長が誕生し、2024-2025年度には2人目の女性会長が就任しています。最近では企業が推進し始めたDEI※をロータリークラブでも推進しようとしています。このようにロータリークラブも世界の動きに追いつこうとしていると思います。

今日はD・E・I推進小委員会の西さんに卓話をお願いしています。DEIとジェンダーハラスメントの勉強をしたいと思っています。

※ DEIとは…「DEI(ディー・イー・アイ)」は、「Diversity(ダイバーシティ、多様性)」「Equity(エクイティ、公平性)」「Inclusion(インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称です。

企業経営において、社員それぞれが持つ多様な個性が最大限に活かすことがより高い価値を生み出すという認識が近年広がっています。



### <幹事報告>

#### ◎ガバナー、新クラブ推進小委員会委員長より

- みえぎふEテラスロータリークラブ(2630地区初オンラインRC)について
- 設立目的: 会員ご子息受入、新会員向け研修の提供、移籍希望会員の一時的受入
- 活動内容: 毎週水曜 19:00~19:45 ZOOM利用によるオンライン例会
- メイクアップ: 当日参加の場合事前に事務局へ申込、事後参加はyoutube動画の感想を事務局へ
- メイクイー: 1回あたり1,000円、年間パス10,000円

#### ◎ガバナー、米山奨学委員会委員長より

- カウンセラー研修会及び中間報告会開催のご案内
- 日時 9月8日(日) 13:00受付~16:45終了
- 会場 安保ホール501号室 名古屋市中村区名駅3-15-9

#### ◎ガバナー月信担当幹事より

- 2024年5月、6月 会員数の訂正について

#### <例会変更>

- 可児… 9月12日(木)は、定款により休会
- 9月19日(木)は、定款により休会

#### <受贈誌>

下呂RC(会報)、(社)高山市文化協会(広報高山の文化No255)

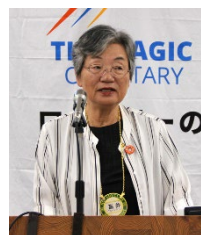
### <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	-	24名	36名	73.53%

### <本日のプログラム>

#### 米山奨学金贈呈

ピッツ ピョー パイさん



### 会員増強委員会

#### 委員長 高井 道子

本年度の会員増強委員会の計画として、女性の入会を推進するために、受入クラブ側として留意すべきセクハラ・パワハラへの意識啓発についてお話し頂くべく、RI 2630地区D.E.I.推進小委員会委員の西美紀様にご講話頂きます。

略歴をご紹介します。ロータリー歴としては2019年12月に高山中央RCに入会され、2023年7月より2630地区D.E.I.推進小委員会委員をお務めです。大八診療所の事務長であり、ヴィラ・ウエストヒルズ(ゲストハウス)を運営されています。では西様、よろしくお願いたします。

# 例会報告

「女性会員獲得に向けて  
クラブで留意すべき点  
特にハラスメントに  
対する意識啓発について」  
R I 2630 地区  
D.E.I 推進小委員会 委員  
西 美紀 様



この度はDEIについて卓話のご依頼をいただきましてありがとうございます。DEI小委員会は地区の会員増強委員会の中の小委員会です。昨年は委員長の野原が参りましたが、今回は私にという事で、力不足ではありますが、勉強の機会と思い、お引き受けいたしました。ご依頼の卓話の目的は、女性会員獲得に向けてクラブで留意すべき点、特にセクハラ、パワハラに対する意識啓発についてという事です。

まず、DEIについて基本概念について少しお話をさせていただき、その後クラブで具体的にどのように実践していくのか、ハラスメントについての内容を交えながら、お話させていただこうと思います。今日すべての内容をお話するのは無理なので、お手元にご参考に資料をお配りしましたのでご参考になしてください。

最初に、地区の方針についてですが、

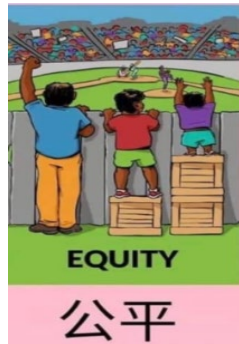
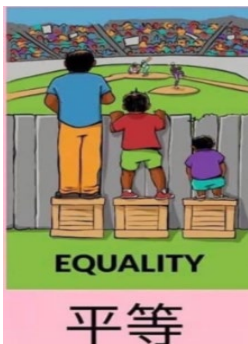
## 【地区活動方針】のひとつに

- ・各クラブの会員増減状況把握、各クラブへの卓話等の働きかけと各クラブの会員増強の必要性の再確認。
- ・DEIの推進徹底と女性会員増強、意見交換
- ・新クラブ（衛生クラブ・Eクラブ等）の推進を強化する。
- ・各クラブ2名以上の純増と会員数の維持を図る。
- ・各クラブオープン例会開催の実施。

ということで、亀井ガバナー年度の会員増強委員会の目標に掲げられています。

さて、DEIとは 多様性 ... ダイバーシティ、公平さ...イクイティ、包括や包含する ... インクルージョン、頭文字をとってD.E.Iです。DEIを理解し、実践して、どのようにクラブを活性化させていくのか？が大事なことですが、まず、DEIのご説明をさせていただきます。

D ダイバーシティ ... 多様なバックグラウンドの会員構成を指します。1人1人の職業、年代、性別、ロータリー歴、国籍、文化など様々です。そしてそれぞれの会員が「どれだけの時間をロータリーに使えるか」「どんな奉仕活動に興味があるか」「どんな事を得たいと思っロータリーに参加しているのか」後ろにある思いは皆さんそれぞれにあると思います。皆様多様なバックグラウンドですが、根底にあるのは「高潔性を重んじ、他者を思いやる心を大切に、同じビジョンを持ち、ロータリーに入会した時から私たちは奉仕の心で結ばれています」



E Equity 公平さ。平等とよく似ていますがその違いをご存じでしょうか？私たちが目指すのは、公平な状態です。この絵を見てわかる通り、公平とは同じスタートラインに立てる状況に対応する状態です。公平は異なる能力を持つ者を別々に扱いますが、平等は

異なる能力を持つ者を全て同等に扱います。平等の観点からは、箱は同じ数だけ与えられていますが、箱が必要のない背の高い人にまで与えられています。対して、右側の公平の状態はどうでしょうか。背丈に応じて踏み台の数を変えて使っています。これで全員が同じように試合を見ることができます。ハンディキャップのある人にも、ハンディが気にならないような環境を作って皆で協力、ともに働き、働けるチーム・グループ・クラブを作ることが目標です。4つのテストの中でも、「みんなに公平か」とあります。決して「みんなに平等か」ではないのです。クラブにおける Equity 公平さとは誰もが同じ重みで大切にされている ということです。公平さは 意見を言える事、それぞれの役割がある、必要な情報を得られる、という事。この公平さがあるからこそ、誰もがクラブを楽しめるのです。

I の INCLUSION(包含、包括性) インクルージョン。迎え入れて、仲間にする事、これが、インクルーシブなクラブの実現です。ダイバーシティ ... 誰でも関係なく招待すること、インクルージョン ... みんな巻き込んで一緒に踊ること、です。それは仲間づくりに繋がります。多様な会員のだれもが受け入れられていると感じるクラブ。満足できる、居心地のいいクラブ。自分らしく参加できるクラブ。それが、インクルーシブなクラブ (DEIの実現) です。互いに認め合い・尊重し合うインクルーシブなクラブ作りが進むと会員それぞれが成長・活躍し始め、クラブに対し満足度が高まります。そうすると、奉仕活動への積極的な参加が始まります。いつも言われていることですが日本のロータリーの課題は「女性のロータリアン比率の向上」「若い世代のロータリアンを増やす」ことです。女性会員についてですが、女性だからといって特別視しすぎないことです。インクルーシブなクラブはだれにも居心地のいいクラブという事で⇒ 女性が入りやすいクラブを考える必要はありません。例えば女性ための旅行、女性だから会費を減額、など女性会員を特別扱いしなくても良いのです。女性会員は望んでいません。既存の会員の皆さんの、意識改革こそ重要です。世代や性別の違う会員が良い仲間になるためには、互いに学び合う関係性の構築が必要です。

- ・シニア世代は若者に譲ってひっこんでしまわず、かと言って変化を嫌い、いつまでも同じポジションにとどまらず。
- ・世代による役割分担をせずに若い世代も、シニア世代も、両方がリーダーとなる
- ・若い世代はシニアのロータリアンから知らないことを学び、シニアのロータリアンは若い世代から知らないことを学ぶ
- ・シニア世代は知らないもの、慣れないものを嫌わない・若い世代はシニアのロータリアンに話しかける。シニアの方も待ってみえます。また、シニアの方も若い方に話しかけてあげてください。若い方は人生の大先輩になかなか話しかけられないものです。お互いに認め合い、学び合う仲間になることが大切です。これは、女性会員さんに対しても同じです。私たちのクラブはほんとうにインクルーシブだろうか？いい仲間になっているだろうか？もう一度考えてみましょう。次に、ハラスメントについて少しお話させていただきます。ロータリーはすべての人に安全で、楽しく、差別のない環境をつくるために、ハラスメントに関する方針を定めています。ロータリー章典 26.120 会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境の中でハラスメントとは、個人またはグループを、あらゆる特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認）に基づいて、言葉であれ、身体的であれ、中傷、侮辱する言動、または攻撃的な言動を指すと定義すべての会員およびロータリーの会合、行事、または、活動に出席または参加する個人は、ハラスメントのない環境を期待すべきであり、安全、礼儀、品格、およびすべての人への尊厳を促す環境を維持するよう援助するものとする。

様々なハラスメントとして、

- ・口頭又は文面で侮辱的な言葉を使うこと (Eメール、SNS含む)

# 例会報告

- ・いじめ（前述に挙げた特徴に基づく口頭または身体的な脅しや威嚇を含む）
- ・SNSやEメールでの中傷的なコメント
- ・噂話やゴシップ（その人の評判を落としかねない私生活に関する侮蔑的なコメント含む）
- ・相手の動きを意図的に妨げること
- ・ある人の性生活や性的経験について質問したりコメントしたりすること
- ・相手の特徴（前述参照）に関する冗談や抽象的な言葉等が例にあげられています。

このように、ハラスメントとは、色々な場面での「嫌がらせ、いじめ」です。他者に対する発言・行動等が、相手を不快にしたり、尊厳を傷つける、不利益、脅威を与える等がハラスメントですが、受け取り側の主観が重視されるために、行う側の意図や意識は関係ありません。多くの種類のハラスメントがありますが、

- ・パワーハラスメントは立場を利用して、他者に圧力をかけること
- ・セクシャルハラスメントは性的な嫌がらせです。（過度な下ネタ発言はセクハラです）
- ・ジェンダーハラスメント ... 30以上ものハラスメントがありますが、特に無自覚で行われる事が多いジェンダーハラスメントについてお話させていただきます。

ジェンダーハラスメントとは、性別によって社会的役割が異なるとの固定観念に基づく嫌がらせや差別です。個人の価値観による性別に対しての差別的な言動が、個人のアイデンティティに関わる嫌がらせに当たる場合はハラスメントです。

例えば

- ・お茶くみやお酌、掃除は女の仕事（役割の押し付け）
- ・男性には力仕事（役割の押し付け）
- ・男らしさ、女らしさを求める→ 男のくせに、女のくせに ...
- ・性別によって名前の呼び方を変える（ちゃん、さん、君）
- ・女性のリーダーの下で働くのは嫌 等々

これらは、よくありがちな事だと思えますが、皆様はいかがでしょう？

ジェンダーハラスメントとは、性別によって社会的役割が異なるとの固定観念に基づく嫌がらせや差別ですが、ジェンダーハラスメントが発生する原因として、2つ考えられます。

①加害者側に悪気がない、自覚がないのに、知らず知らずに相手を傷つけてしまっている。

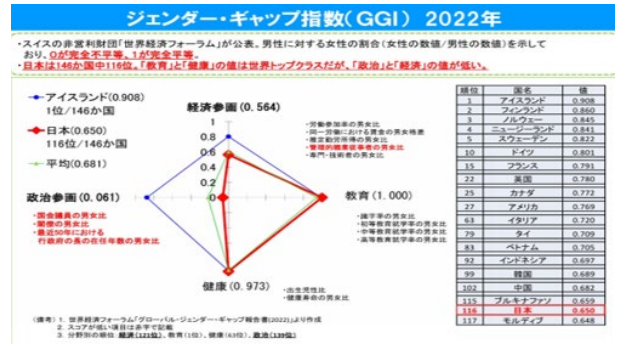
育った時代や教育、環境で当たり前と思ってきたことが、受け手側は不快に感じる場合があります。テレビドラマで「不適切にもほどがある」という番組で昭和のダメおやじが、令和にタイムスリップしてギリギリの「不適切」発言で令和かき回すというコメディです。昭和の当たり前が令和ではハラスメントにあたる様なことが、たくさん散りばめられていて、時代の移り変わりを再認識したドラマでした。高いコンプライアンス意識が必要とされる昨今でも、果敢なイエローカードすれすれのジョークを耳にします。これは私見ですが場を盛り上げたり、笑いを誘うのか、それとも不快にうつるのか、紙一重で、ハラスメントになるかどうかは、人間力なのかな？と考えさせられたドラマでした。

②世界と比較して日本のジェンダーに対する意識が低い

次の表は世界のジェンダー指数を示したものです。

各国における男女格差を図る指数で、0が完全不平等、1が完全平等をしめています。日本の総合順位は146か国中116位で、0.650と非常に低い数値となっています。

それでは、どうしたらジェンダーハラスメントを無くせるのか？ジェンダー先進国のアイスランドでは、男性と女性は平等な存在であるとして、様々な法制化がおこなわれてきました。日本ではまだまだ時間がかかり、完全平等まで132年かかるといわれています。



ハラスメントのない環境をつくるには

会合や親睦行事でハラスメントのない環境をつくるには、全会員の協力が必要。安全でハラスメントのない環境を築いてはじめて、よりよい地域社会を築くために多様な人びとがつながると言うロータリーの理念を実践できます。

インクルーシブなクラブ創りとは

自分と違うものを大切に思いやりの心。自分と違うものを受け入れる柔軟な心。自分と違うものに学ぶ謙虚な心。相手の心の中をイマジネーションするところからスタートします。

性別や年齢、固定観念というフィルターを通して他者とかかわるのではなく、多種多様な考え方を受け入れて、一人ひとりに対して適切なアプローチすることで、個人の尊厳が守られるクラブ、そして社会につながるのではないのでしょうか？そしてそれらは、皆様が実践して来られた、ロータリーの4つのテストの中に含まれています。女性、若手会員獲得に向け、今一度クラブ運営に対してこの四つのテストを実践してみたいはいかがでしょうか？

高山西RC米澤会長の振るタクトに合わせ、会員の皆様が素晴らしいハーモニーを奏で、ズキズキ、ワクワクされます様お祈り申し上げます。高山西RCの益々のご繁栄とご発展、魅力的なクラブづくりを応援しています。ご清聴ありがとうございます。

## <ニコニコボックス>

### ●米澤 久二さん、田中 晶洋さん

毎日酷暑が続いておりますが、郊外ではトンボが飛びはじめ、秋の足音が聞こえて来そうです。本日は地区D.E.I推進小委員会の西美紀様をお招きして卓話を頂きます。西様どうぞ宜しくお願い致します。また米山奨学生のパイさん、来訪を歓迎致します。

### ●高井 道子さん

本日は地区D.E.I推進小委員会、高山中央RC所属の西美紀様にインパクトある卓話をお願い致しました。D.E.Iを含め、ハラスメントについて学習したいと思います。よろしくお祈り致します。

### ●堺 和信さん、門前 庄次郎さん

地区D.E.I推進小委員会委員、西美紀様のご来訪を歓迎致します。本日の卓話を楽しみにしています。よろしくお祈り致します。

### ●斎藤 章さん、古橋 直彦さん、田中 武さん、垣内 秀文さん、鴻野 幸泰さん、大村 貴之さん、田邊 淳さん、井口 大輔さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん、佐藤 貴史さん

メダルラッシュのパリ五輪。連覇確実とみられていた女子レスリング50kg級須崎優衣選手はまさかの1回戦負けでしたが見事敗者復活戦で銅メダルを獲得。その際のリング上での皆への感謝と謝罪のポーズには心を打たれました。また決勝で体重オーバーにより失格となったインド選手を見るとアスリートの怖さ、天国と地獄を思い知らされました。ここから五輪も終盤戦。頑張りニッポン！！そして水梨弘基さん、目指せAクラスシングルハンデ！！